

冒険心が飛翔する“100人の戯空間” 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F
ウイング フィールド TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312
ウイングフィールド公式サイト URL <http://wing-f.main.jp/>

ウイングフィールド提携公演

作・演出／神原くまこ

6/30(土) 3:00
7:00 「切られ牡丹」

7/1(日) 1:00
5:00 出演／すかんぼ長屋

料金／前売 2,200 円 当日 2,500 円 小中高校生 1,500 円 (前売・当日とも)

第10回むりやり堺筋線演劇祭参加

構成・演出／村山公一

「∩」積集合

元なる演劇から生まれる可能性 (集合積) による対話の創出

15(日) 11:00 企画・主催／パッチワークス

3:00 劇団ハタチ族「10 万年トランク」 作・演出／樋口ミュ (Plant M)

7:00 ティッシュの会「にぎる」 構成・出演／森馬正紀 出井友加里

World Wide Works「風習」 作／佐々木慶 演出／近藤トモヒロ

※14 (土) 交流会

料金／一般前売 2,000 円 学生前売 1,500 円 小学生以下 無料

一般当日 2,500 円 学生当日 2,000 円 小学生以下 無料

2018 HPF (大阪高校演劇祭)

主催／HPF 実行委員会 大阪府高等学校演劇連盟

共催／(公財)吹田市文化振興事業団 (財)一心寺文化事業財団

一心寺シアター倶楽、浄土宗應徳院本堂、メイシアターと4会場にて開催

ウイングフィールド開催期間 7月21日(土)～7月31日(火)

カンパ券 中・高生 500 円 一般 1,000 円

深津演劇祭、盛況！

中村ケンシ

「深津の本を演るのよ」「うちも深津さんの演りますよ」とある出版パーティーでコンプリ団のはしぐちしんさんと会話を交わした。「2劇団揃えば演劇祭になるね」ということで、祭が始まった。北海道、仙台、東京、名古屋、大阪、若手から中堅、ベテランまで、故深津氏に関わりのあった演劇人、カンパニーに声

をかけた。全ての方が熱心に話を聞いてくれた。そして、11カンパニー12作品の上演が決まった。上演戯曲は自由に選択してもらい、結果、様々な作風が並ぶバラエティに富む演劇祭になった。各カンパニー独自の解釈で、深津戯曲の新しい魅力を提示できたのではないだろうか。深津戯曲の持つ人間洞察の奥深さ、世界を見つめる優しい視線、鋭い切り口、普遍性、魅惑的な演劇の時空間、故である。また、連続上演をすることで、その魅力がより浮かび上がったように思う。いや、私の言葉はもういい。紙面をお借りして、一番伝えたいことは、各カンパニーの上演の軌跡である。以下、

「深津演劇祭 深津篤史コレクション舞台編」上演記録

- ① コンプリ団 Re : プリックス「カラカラ」 演出／はせひろいち
2016年9月2日～5日 ウイングフィールド (大阪)
 - ② エイチエムビー・シアターカンパニー「壁の中の鼠」 演出／笠井友仁
2016年10月7日～11日 アトリエ劇研 (京都)
 - ③ 桃園会「ふっと溶暗～断章・ふかつしげふみより～」 作・演出／橋本健司
2017年2月11日～12日 アイホール (兵庫)
 - ④ 空の驛舎「どこかの通りを突っ走って」 演出／中村賢司
2017年2月24日～26日 ウイングフィールド (大阪)
 - ⑤ オイスターズ「うちやまつり」 演出／平塚直隆
2017年4月20日～25日 セツ寺共同スタジオ (愛知)
 - ⑥ 虚空旅団「飛ぶ夢、アルベルト・キシュカについての短いお話」 演出／高橋恵
2017年5月26日～28日 ウイングフィールド (大阪)
 - ⑦ 劇団☼太陽族「かえるでんち」 演出／岩崎正裕
2017年6月1日～4日 ウイングフィールド (大阪)
 - ⑧ 燐光群プロデュース「湾岸線浜浦駅高架下 4:00A.M. (土、日除く)」 演出／坂手洋二
2017年7月6日～19日 下北沢ザ・スズナリ (東京)
 - ⑨ 遊劇体「のたり、のたり、」 演出／キタモトマサヤ
2017年11月23日～26日 ウイングフィールド (大阪)
 - ⑩ Plant M「blue film」 演出 樋口ミュ
2018年1月17日 アイホール (兵庫)
 - ⑪ あうん堂「五軒町商店街寄合会」 演出／杉山晴佳
2018年3月16日～18日 ウイングフィールド (大阪)
 - ⑫ 桃園会「深海魚」 演出／森本洋史
2018年3月25日～27日 ウイングフィールド (大阪)
- *「深津演劇祭後夜祭～深津戯曲を語る夜～」 2018年3月25日 ウイングフィールド (大阪)

ずっと深津作品を見続けていたお客様、初めて深津作品に触れたお客様など、多数のご来場がありました。深津演劇祭は盛況でした。本当にありがとうございました。演劇祭は終わりましたが、今後も深津戯曲の上演がおこなわれることを願っております。これからも深津氏の戯曲に、舞台作品に触れ

てください。感じられることは人それぞれですが、きっと少しか生きやすくなったり、世界が切なく、愛おしくなると思います。「世界は、たとえ何があっても、お構いなしに、くつきり美しい」深津氏の言葉です。

(深津演劇祭事務局・空の驛舎)